

2020(令和2)年度(公財)和歌山県人権啓発センター事業計画

(2020年3月16日理事会議決)

1 学びの場の提供 4,791千円

人権について学ぶことのできる場として、講演会、ワークショップ等の開催、講師の派遣を行うほか、誰もが自主的に学ぶことのできる人権ライブラリーを運営する。

①人権を考える公開講座(182千円)

県内各地域でセミナーやワークショップ形式の講座を開催し、人権に関わるNPO団体等との協働、連携を図っていく。(県委託事業)

○人権を取り巻く現状の課題等をテーマに開催する。(2回)

(開催場所)セミナー1回(橋本市)、ワークショップ1回(和歌山市)

(対象者)県民 30~50人

②人権ライブラリー(閲覧室運営)(95千円)

人権に関する図書、ビデオ、資料等を整備し、閲覧・貸出等の業務を行う。(県補助事業)

*2020(令和2)年1月末現在の状況

書籍:5,324冊(うち点字図書109冊)、DVD・VHS:511本

③人権感覚を育てよう(488千円)

和歌山県が開発した大人も子供も学べる「人権感覚を育てよう」プログラムを実践するための講師を広く養成するとともに、県内の幼稚園・保育所等を中心に、プログラムの普及と啓発手法の周知を図る。(県委託事業)

(開催場所)県内全域

(対象者)子供(3~5歳児まで)、教諭・保育士等指導者

(内容)講師養成セミナー「みんな、たいせつ」(紀北1回、紀南1回)

出張講座「みんな、たいせつ」5回(実施場所は選考)

※ファシリテーターはセミナー修了者

④協定企業人権研修(講師派遣)(342千円)

和歌山県人権尊重の社会づくり協定締結企業からの依頼に基づき、企業内の人権研修に、講師バンク登録講師又はセンター職員を派遣する。(県委託事業)

(実施場所)県内全域

(対象者)協定企業の従業員

(内容)さまざまな人権課題

⑤人権啓発支援事業(547千円)

中小企業の経営者及び研修担当者を対象に、企業の従業員一人ひとりが人権問題を正しく理解することで、誰もが公平・公正に働くことのできる職場づくりを支援するための講座を開催する。(1回)(中小企業庁委託事業)

(開催場所)和歌山市(予定)

(対象者)中小企業の経営者及び研修担当者等

(内容)企業における人権課題

⑥人権・発見・体験教室(292千円)

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催年にあたり、スポーツを通じ、お互いがお互いの違いを認めながら人権意識を学ぶ「人権・発見・体験教室」を実施する。

(開催場所)和歌山市(予定)

(県委託事業)

(対象者)県民40人

⑦ **インターネット上の人権侵害対策** (2, 845千円)

インターネット上における人権侵害防止のため、県民に対しインターネット上の問題点や正しい使い方についての啓発として、シンポジウムを開催するとともに地域において講座を開催する。(県委託事業)

- (シンポジウム開催：場所)田辺市(予定)
(対象者)県民 300人程度
(内容)基調講演及びパネルディスカッション
- (講座の開催：場所)県内各地
(対象者)県民 30人程度
(内容)知識習得のための講演とワークショップ

2 **考えるきっかけと素材の提供** 9, 416千円

各種作品募集・展示、啓発資料の配布等を通じて、人権について考えていただくきっかけと素材を提供する。また、各種イベントやキャンペーンを通じて人権の大切さを訴える。

① **啓発ポスター・人権の詩募集** (266千円)

人権に関するポスターや詩を募集し、優秀作品を表彰し、啓発活動の資料等として活用する。(県委託事業)

- ポスターは、最優秀作品を「人権を考える強調月間」「同和運動推進月間」における啓発に活用する。
- 人権啓発ポスター・人権の詩を啓発資料として広く展示、教材としても活用する。

② **啓発ポスター・人権の詩入選作品集作成** (358千円)

人権の詩及び啓発ポスターの入選作を作品集に収録、啓発教材として活用するほか、人権の詩のパネルを作成する。(センター自主事業)

- 作品集「啓発ポスター・人権の詩」3,000部
- 人権の詩パネル作成・貸出

③ **人権ギャラリー(研修室)** (80千円)

さまざまな人権関係団体、グループ等の研修・学習会や展示会などに貸出を行うほか、啓発パネル等の展示を行う。(県補助事業)

④ **ふれあい人権フェスタ2020** (7, 504千円)

NPOをはじめとした各種人権関係団体等と協働し、楽しい雰囲気の中で人権を考え、多様な体験ができるフェスティバルを開催する。(県委託事業)

- (開催時期)11月21日(土)予定
- (開催場所)和歌山ビッグホエール
- (内容)「人権の詩」表彰、「人権啓発ポスターコンテスト」表彰、講演会の開催、パネル展示、体験コーナー等

⑤ **人権を考える強調月間・同和運動推進月間** (471千円)

強調月間及び推進月間に集中的に啓発活動を行うことにより、人権意識の高揚と同和運動の推進を図る。(県委託事業)

- 人権を考える強調月間
(期間)11月11日～12月10日
(内容)街頭啓発、啓発ポスター作成・配布
- 同和運動推進月間
(期間)11月1日～11月30日
(内容)街頭啓発、啓発ポスター作成・配布、講演会の開催

⑥啓発資料の作成（737千円）

人権啓発のためのパンフレットや資料等を作成し、県民の方々をはじめ企業、各種団体、県の機関並びに市町村に提供し、自主学习や各種研修会等に活用いただく。（県委託事業）

- ・「企業と人権」（仮称）の冊子 <新規>
- ・「みんなでつながる－インターネットと人権－」の冊子増刷

3 情報の収集と提供 1, 799千円

センターのホームページや情報誌を通じて、人権に関するあらゆる情報の収集と提供を行う。また、企業、団体等の要望に応じ、センター登録講師を紹介する。

①センター情報誌の発行（1, 455千円）

人権に関するさまざまな情報や人権課題に取り組むNPO団体等の紹介、センターの活動・事業案内、啓発記事等を掲載したセンターだより『E.L.F. (エルフ)』を年に4回発行する。（センター自主事業）

- ・『E.L.F.』規格 A4/12ページ、全頁ルビ・音声コード付き
1回あたり5,000部

②ホームページの運営（344千円）

センターの活動や、人権に関するさまざまな情報をインターネットを通じて提供する。（県補助事業）

*ホームページアドレス <http://w-jinken.jp>

③講師バンク

市町村、企業、各種団体等の要望により、同和問題、子供、女性、障害者など分野別に登録された講師を紹介する。（センター自主事業）

4 人権相談 3, 576千円

人権に関わるさまざまな相談に対し、問題解決の視点から相談者に必要な助言等を行う。（県委託事業）

①人権相談（3, 576千円）

- 常設相談 「人権ホットライン」による相談電話に人権相談員等が対応。
(相談日) 毎週月～金曜日(原則として電話相談)
(相談時間) 9:00～16:00
- 法律相談 弁護士による法律相談
(相談日) 毎月第2・4木曜日(予約制による面接相談)
(相談時間) 13:00～16:00(一人約40分程度)

5 センター運営 7, 748千円

事務室使用料のほか公益財団法人和歌山県人権啓発センターの運営に要する経費。

7, 621千円 (県補助事業)
1, 27千円 (センター自主事業)

6 人件費 46, 186千円

合計 73, 516千円